
A.O.G -Agent Of God- ~ 代行者《エージェント》と三国の恋姫たち ~

反省猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

A・O・G - Agent Of God - エージェント 代行者と三国の恋姫たち

【Nコード】

N2406Z

【作者名】

反省猫

【あらすじ】

また新たな一人の男が、今度は『恋姫無双』に似たセカイの地に降り立った。男は、このセカイで何をするのか……それはまだ誰も知らない。

今、新しい外史の幕が上がる！！

この作品は、恋姫無双シリーズをモチーフにした2次創作小説です。

オリ主最強、キャラ崩壊、原作ブレイク、残酷な描写が苦手な方は、

あまりおすすめできません。

又、この作品は、

『A・O・G - Agent Of God - 真剣で代行者に
恋しなさい!』

とクロスオーバーしています。もしよろしければそちらのほうも
どうぞ!

A・O・G - Agent Of God - 真剣で代行者に恋
しなさい!』

[http://ncode.syosetu.com/n9214
y/](http://ncode.syosetu.com/n9214y/)

オリキャラプロフィールその？（前書き）

オリ主とオリキャラの紹介をします。

オリキャラプロフィールその？

名前：室谷 大地

フリガナ：ムロヤ ダイチ

CVイメージ：木内 秀信（DARKER THAN BLACK
-流星の双子-の黒役）

年齢：21歳

身長：181.3cm

血液型：O

誕生日：12月24日

一人称：俺

あだ名：ダイチ

容姿：スーパーロボット大戦OGのキョウスケ・ナンブ（
通常時は、黒眼黒髪、氣解放時は赤眼金髪）

武器：刀 いままで培ってきた知識 体中に仕込まれてい
る暗器

職業：何でも屋

家 庭：家族なし

好きな食べ物：炒飯

好きな飲み物：鉄観音

趣 味：道具作り 料理 ギャンブル

特 技：一度見た技や動きはすぐに覚えられる。

大切な物：自分 バイク 師匠

苦手な物：人の心を踏みにじる行為 外道 小さい子供

尊敬する人：師匠

ある世界で何でも屋をしていた元傭兵。

あるとき、絶体絶命のピンチを管理者のルカに助けられ、ルカにより代行者に任命され現在に至る。

普段は無愛想で寡黙だが、表面に出ないだけで実際は静かに燃える熱血漢である。

己の熱しやすい性格をよく理解し自戒してはいる。

また、熱しやすい一方でプロ意識は高く、感情を押し殺して

目の前の任務に徹するように努めている正にプロフェッショナル。

赤子のときに剣の師匠に拾われ、15歳になるまで一緒に暮らしていたが、

師匠の制止を振り切って、軍に入ったが、ある事件がきっかけで

嫌気がさし、軍を脱退、それ以降傭兵をしていたが、

ある人物と知り合い、何でも屋に転職した。

色恋沙汰には鈍いが、その立ち振る舞いからよく女性から惚れられ

る。

天然の誑しであるが本人は気付いてないから立ちが悪い。

名 前：ルカⅡツヴァイトⅡルミナス

フリガナ ：ルカⅡツヴァイトⅡルミナス

cVイメージ：佐藤 聡美 （生徒会役員共 七条 アリア役）

年 齢：不明

身 長：160.0cm

3 サイズ ：85 55 83

血 液 型：不明

誕 生 日：不明

一 人 称：私

あ だ 名：ルカ

容 姿：ああつ女神さまつのスクルド成人版（青眼金髪）

武 器：頬笑み 全知全能の力

職 業：第1級多世界管理者

家 庭：不明

好きな食べ物：不明

好きな飲み物：不明

趣 味：不明

特 技：どんなときでも頬笑みを絶やさない

大切な物：多くのセカイ 従者 代行者達

苦手な物：ネガ・マリス

尊敬する人：不明

数多くのセカイを管理している神様。

詳しくは『A・O・G - Agent Of God - 真剣
で代行者に恋しなさい！』
のオリキャラプロフィール参照

名 前：稲葉

フリガナ：イナバ

CVイメージ：加藤 英美里（まどかマギカ キュウベえ役）

年 齢：不明

身 長：110.7cm

血 液 型：不明

誕 生 日：不明

一 人 称：私

あ だ 名：イナバ

容 姿：西 屋のロゴ

武 器：不明

職 業：神の従者

家 庭：不明

好きな食べ物：不明

好きな飲み物：不明

趣 味：不明

特 技：どんなときでも礼儀正しい

大切な物 : ルカ

苦手な物 : ルカの怒り

尊敬する人 : ルカ

神の従者その1。

詳しくは『A・O・G - Agent Of God - 真剣
で代行者に恋しなさい!』
のオリキャラプロフィール参照

名前 : 明々

フリガナ : メイメイ

CVイメージ : 豊崎 愛生 (けいおん!の平沢 唯役)

年齢 : 不明

身長 : 112.0cm

血液型 : 不明

誕生日 : 不明

一人称：私

あだ名：メイ

容姿：メイド服を着た羊

武器：不明

職業：神の従者

家庭：不明

好きな食べ物：不明

好きな飲み物：不明

趣味：不明

特技：何もないとこでコケる

大切な物：ルカ

苦手なもの：ルカの怒り

尊敬する人：ルカ

神の従者その2。

姿形は、メイド服を着た羊のような生き物。
ルカの身の回りの世話をしている。

性格はそそかっしく、かなりのドジっ子。

何も無いところでよくコケる。
稲葉とは幼馴染。

オリキャラプロフィールその？（後書き）

作者「だいたいこれが、今回の主人公とオリジナル登場人物のプロフィールです」

作者「オリキャラのプロフィールは、章ごとに追加していきますので、お楽しみに」

第0話 『大地、恋姫のセカイに行くの事』（前書き）

はじめての人ははじめてまして、知ってる人は毎度！ 反省猫です。
ということ、今回は、恋姫無双のセカイで、新たな代行者が駆け
回ります。

相変わらず、駄文ですが、暇つぶしにどうぞ〜

第0話 『大地、恋姫のセカイに行くの事』

大地 side

大地

『参つたな、これは……』

全方向から数百のマフィア達が、大地に銃を向けている。

ここは、あるセカイの裏カジノ。大地は、依頼によりこのカジノの裏で行われてる

裏ファイトの証拠を掴む為に、大地は裏ファイトに参加する為という事で、

潜入に成功。

大地は、裏ファイトのトーナメントを勝ち上がり、チャンピオンのここを運営しているマフィアのボス、ヴラドゥバキュラと闘う事になった。

一進一退の攻防を制し、辛勝した大地だったが、そのせいで今の状況となっている。

大地

「（まあ、予想は出来たが、さてどうするか）」

大地は今の状況を考えていたその時、1人のマフィアが、

マフィアA

「良くもボスを！ かまわねえ！ こいつを殺っちまえ！！！」

バキューーーーーー！！！！

それを合図に全方向から銃から銃弾が大地を狙って放たれた。

大地は、避けようにも先程の闘いのダメージがあり、動けない。

大地

「（これは、俺死んだな）」

そう言っつて、目を瞑ったが、いくら待っても銃弾がこない。

ゆっくりと目を開けるとそこは今までいた裏ファイトの会場ではなく、

何も無い真っ白い空間だった。

大地

「ここは……どこだ？」

大地がこの部屋を見渡すと

女性

「うふふ、ここは空間と空間の狭間のセカイですよ」

大地

「誰だ！！！」

そう言つて、大地は構えて、声をした方を見るとそこには、金髪青
眼の美しい女性が立っていた。

女性

「ふふ、驚かせて申し訳ありません。私は敵じゃないですよ」

女性は穏やかな声でそう言った。

大地は、訝しげにその女性を見て、

大地

「あんたは一体……？」

女性

「はい、申し遅れました第1級多世界管理者ルカ＝ツヴァイト＝
ルミナスと申します。

いわゆる……『神』です（ニコッ）」

そう言つて、微笑んだ。

これが、俺と神ルカとの出会いだった。

大地 side out

明々

「大地様、ルカ様がお呼びです」

羊によく似た？の明々が、俺を呼びに来た。

大地

「ああ」

俺は明々に着いて行った。

その後、ルカがああ銃弾の雨から力を行使して俺をこのセカイに連れてきたらしい。

ある意味命の恩人だ。

そこで俺は、命を救われた礼がしたいと申し出をしたら、

ルカが、

ルカ

「なら私の代わりにセカイを廻ってください（ニコッ）」

と言われたので、最初意味が分からなかったが、

ルカから説明を受けて要約理解した。

ルカは、セカイにでてくるイレギュラーの対応とバグを修復する

『エージェント神の代行者』になってくれということらしい。

俺は、二つ返事で

大地

「了解」

と言つて、神の代行者千ジェントになつた。

それからルカに力をもらった。

? 不死及び強靱な身体

? 身体能力限界突破

? 氣の発現及び許容量無限

? 創造の力（人体練成は無理でも死者蘇生は可能）

? なでポ、にこポ（これはルカが勝手に付けた）

? 毒などの状態異常無効

? 今度行くセカイの知識とそのセカイで役に立ちそうな知識

? 戦闘能力成長限界突破

もらった力は以上である。

それから少ししてルカのいる場所へと明々と一緒に辿り着いた。

ルカ

「大地、さつそくで悪いのだけど、あるセカイに行ってもらえますか？」

大地

「どんなセカイだ？」

ルカ

「三国志に似てるけど英傑達が全員女性になっているセカイです」

その説明に大地は、

大地

「わかった。そのセカイの知識を頼む」

即答した。

ルカ

「あの、こういってはなんですが……考えたりしないんですか？」

ルカも即答されるとは思ってなかったようで困った表情でそう言った。

大地

「俺は、君の代わりにセカイを廻るのだろうか？」

ルカ

「はい、そうです」

大地

「なら君は俺の依頼主クライアントとだ。

俺は君と契約したようなもんだ。

なら、考える必要はない。

俺は依頼を遂行するだけだ」

ルカは、それを聞いて

ルカ

「なるほど、わかりました。ではお願いします」

大地

「了解」

ルカ

「後、あなたのそのセカイの使命ですが、イレギュラーの対応とバグの修正

はもちろん、英傑たちと特異点の青年を導いてください」

大地

「特異点の青年？」

ルカ

「その特異点の青年は、自分が何をそのセカイで成すか知りません。ですので、あなたに彼の監視及びあなたの考えてその少年を導いて欲しいのです」

大地

「ふむ」

大地は少し考え、

大地

「了解した」

それからそのセカイの知識と色々役立つものをもらい、大地はゲートの中央に進む。

大地

「では、行ってくる」

大地は振り向き、そう言った。

ルカ

「ええ、お気をつけて行ってらっしゃい（ニコッ）」

ルカが見送るのを見て、大地はゲートの中央に入り消えていた。

稲葉

「行ってしまわれましたね」

大地が去った後、稲葉が、ルカにそう言った。

ルカ

「ええ、あの人なら彼女たちとあの少年を救う事が出来るかもしれない」

少し悲しそうな表情でルカが言った。

明々

「ルカさま……」

ルカは、悲しい表情からいつものにこやかな表情に変わり、

ルカ

「稲葉、観測者の二人に連絡を……」

稲葉

「はい！ ル力様」

そう言って、稲葉はその場から去っていた。

e c o n t i n u e d

t
o
b

第0話 『大地、恋姫のセカイに行くの事』（後書き）

作者「ついにはじまりました!!」

『A・O・G - Agent Of God - 〓干ジェント 代行者と
三国の恋姫たち』!」

大地「明々に連れて来られたが、ここは?」

作者「という事で、ゲストの室谷 大地さんです」

大地「どうも、室谷 大地だ」

作者「これから彼には、恋姫のセカイで大いに駆け回ってもらいます!」

大地「とりあえず、用件は分かった。だから落ちつけ駄作者」

作者「お前まで駄作者って言うのかよ!!!」

大地「それがテンプレなのだろう?」

作者「誰からそれを?」

大地「稲葉に」

作者「稲葉~~~~!!!!!! どんじゃあ〜」

そしてその場から去っていく作者

大地「やれやれ、次回予告の時間だ。今回は、俺とある少年と少女達が出会う物語だそうだ。」

次回 第1章 第1話 『代行者、天の御遣いに会うの事』
でまた会おう」

作者「稲葉何処じゃ~~~~~!!!!!!」

大地「あ、戻ってきた」

第1話『代行者、天の御遣いに会うの事』（前書き）

前回までのあらすじ

ルカに代行者を任命された何でも屋の室谷 大地。

ルカの依頼により、恋姫のセカイへとゲートを通り向かうのだった。

落ちてきた流星は、轟音と共に凄まじい光を放ち、周りの視界を真っ白にした。

大地

「……………くっ！」

大地は、目を瞑り光が収まるのを待つ。

数分後、薄目を開け、光が収まったのを確認すると目を開き、流星が墜ちた場所を見る。

すると一人の白い制服を着た青年がうつ伏せに横たわっている。

大地

「ふむ、あれがルカが言っていた特異点か」

そう呟くと墜ちてきた青年の傍に駆け寄った。

大地

「おい、大丈夫か？」

青年は気を失っており、目を覚まさない。

大地

「とりあえず、頬を叩いてみるか」

そういつと青年の頬を軽く叩く、

ペシ！ ペシ！

大地

「おおい、起きろ！」

青年

「ん……」

ペシ！ ペシ！

大地

「しっかりしろ」

青年

「んん……」

ペシ！ ペシ！

青年

「んっ……」

青年はよづやく目を覚ました。

大地

「……おはよう」

青年

「ん……？ えー……っと、おはよう……！ごいませすへっ？」

青年は、今の状況が分からないと言った感じである。

大地

「俺は、室谷 大地。お前の名前は？」

青年

「北郷……一刀です……ここはー？」

一刀と名乗った青年に大地は、この場所の名前を言った。

大地

「幽州啄郡の五台山の麓らしい」

一刀

「らしいって」

大地

「俺も今着いたばかりなんでな」

そついうと一刀は大地の格好を見た。

赤いジャケットに黒いタンクトップ、赤いカーゴパンツ胸にはドッ
グタグを身に着けており、

腰には、刀を差している。

一刀

「一つ質問なんですが、ここは日本じゃ？」

一刀の質問に

大地

「違うな、ここは後漢時代の中国に似たセカイだ」

俺よりか4つくらい年上くらいな感じの人だ。

で、大地さんにここの場所を聞くと俺は驚かすにはいらなかった。

幽州啄郡！ 後漢時代の中国に似たセカイだと！！！！！！！！！！

なんで、俺がそんなことに……。

俺が動揺してるとどうやら大地さんがこのセカイの事を教えてくれるらしい。

とりあえず、頭を切り替えて話を聞こう。

それからどうするか考えるんだ。

俺は、大地さんの話に耳を傾けるのだった。

一刀 side out

大地は、このセカイの事を一刀に説明した。

一刀

「そんな……。俺はなぜ、ここに」

一刀が動揺していると

大地

「それについては、俺は知らないが、俺はある依頼でこのセカイに来た」

一刀

「ある依頼って？」

大地

「一応、これは依頼なんだな、簡単に話す訳にはいかないんだ。とりあえず、君に危害を加える事はまずない。これだけははっきりしている」

それを聞いて一刀は、

一刀

「いや、依頼なら仕方ないです。それに大地さんいなかったらこのセカイでどこいっていいかわからないので」

その言葉を聞いて大地は感心する。

大地

「（お人よしだが、それでも状況を見極める力はあるか）」

大地がそんな事を思っていると

一刀

「大地さん、どうしました？」

大地

「……いや、何でもない、とりあえず、村かどこか人のいる場所を目指すか」

そう言って歩き出すと

一刀

「はい！」

一刀は、大地の後ろを着いて行こうとしたその時、

???

「お待ちください!!！」

大地・一刀

「ん？」

二人が振り返ると黒髪の綺麗な女性が俺達を呼び止めた。

女性

「私の名前は関羽雲長と申します。お二人は、天の御使い様と神の代行者様ではありませんか？」

大地と一刀は向きあって、その後

大地・一刀

「はあああ〜〜？」

と叫んだのだった。

t o b e c o n t i n u e d

第1話『代行者、天の御遣いに会うの事』（後書き）

作者「ということ、一刀君と合流です」

大地「なあ、これから蜀ルートで話進めるのか？」

作者「いや、蜀ルートを基軸に他のルートを混ぜるよ」

大地「そんなんで話が纏まるのか？」

作者「なんとかやってみるさ」

大地「まあとりあえず、がんばれ」

作者「さて、今回のスペシャルゲスト北郷 一刀君の登場だ」

一刀「どうも」

作者「とりあえず、ネタバレだが、お前を徹底的に鍛えます」

一刀「えええ!!! どれくらい？」

作者「夏候惇くらい」

一刀「まじで〜!!!!」

作者「とりあえず、色欲にいかないように俺が調整してやるっ」

一刀「いやだ〜~~~~~」

そして作者に連れて行かれる一刀。

それを呆れながらも見送る大地

大地「行ってしまった……。とりあえず次回予告だ。

俺達は、蜀を作ることになる仁王 劉備に出会うのだが……。

次回 第1章 第2話『大地、劉備に理想の厳しさを教えるの事』でまた会おう」

一刀「ぎゃあああああああ!!!!!!」

大地「合掌……」

チーン!!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2406z/>

A.O.G -Agent Of God- ~ 代行者《エージェント》と三国の恋姫たち ~

2011年12月9日01時50分発行